

## ★ 西初石地区地域連携団体の紹介

西初石地区では、自治会をはじめ、各ボランティア団体が日々活動しております。2月号に引き続き、地域の皆さまの活動の一部をご紹介しますと思います。



流山おおたかの森高校の「生涯スポーツ」という体育の学校設定科目の授業での一コマです。流山市グラウンドゴルフ協会・西初石クラブの皆さんに、ルール、基礎的なことを教えていただいた後、一緒にスポーツフィールドでプレーしました。



東京から30Km圏で自然のホタルが飛んでいるのは珍しいことなんです。西初石中学校の近くでは「西初石小鳥の森」の池で夏、夜になると「ヘイケボタル」が乱舞します。

ホタルが飛ぶには自然環境が保たれていて、昔の里山が残っている証拠です。

私たちの団体「流山ホタル野」はもう18年になりますが、市内のホタル飛翔地を見守り、自然の大切さをアピールしつつ、大畔地区では環境整備を実施しています。

このまま、流山にホタルが飛び続けることとホタル環境の継続されることを祈念し、西初石地区を温かく見守って頂ければと思います。（流山ホタル野会長 高橋秀治）



青少年補導員の役割とは今から50年前より当時の青少年の問題行動を憂慮して内閣府が全国に青少年補導員を設置したことに始まります。当時は非行や問題行動といえば喫煙や飲酒、盛り場徘徊といったことが多数でした。

流山市も同様に、東京に近い地域の特性から青少年の問題行動が多く、補導員の役割も大きいものでありました。その頃はどの地区もシンナーや喫煙、飲酒といった非行行動があり、それらに対する声かけや指導が主だったように思います。

しかし現在では、シンナー吸引などの問題行動は皆無で周辺の環境も整っています。パトロールしていても、子どもたちの問題行動に出くわすことはあまりありません。

補導員の行なうべきこともどんどん変わって来ているのが明らかです。そして今一番の問題が補導員の高齢化と人数不足です。出来る事から取り組んで行くという心構えを大切に取り組んでいる日々です。（西初石支部長 梅次芳晃）

